

# とっとり退職者連合

速報第 14 号 2017 年 10 月 17 日

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5

TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615

発行人・斎木兵治 編集人・山田敏明

## 鳥取退職者連合発

— 総勢 52 人が参加し

「第 25 回定期総会」を開催—

**スローガン** 衆議院総選挙を勝ち抜き、政治の流れを変えて

生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！

10月16日（火）、鳥取退職者連合は、国民宿舎「水明荘」（湯梨浜町）において「第25回定期総会」を開催し、2017年度の活動の総括と、2018年度の活動方針、予算などを確認しました。

※出席人数内訳／来賓6人 代議員29人（定数32人）・傍聴1人  
執行部14人（定数18人） オブ2人

会場の様子と議長の福井康夫さん（写真上）



## 学習会 テーマ／ 退職者連合の現状と課題

「定期総会」前段に、毎年恒例の「学習会」を、日本退職者連合の人見一夫会長を講師に迎え開催しました。

「日本退職者連合」の組織の現状説明と、あわせて、5つの課題について、細かく解説していただきました。

<5つの課題>

- ①2017 政策・制度要求の取り組み
- ②低所得者高齢単身女性問題に対する政策・  
制度要求の取り組み
- ③地方ブロックの強化
- ④100万組織建設について
- ⑤第48回衆議院選挙の取り組み



質問する参加者



## 第25回定期総会

前土居一泰副会長の開会のあいさつの後、福井康夫代議員（自治退会）を議長に選出し、早速、定期総会を開会しました。

鳥取退職者連合  
斎木兵治会長



冒頭、斎木兵治会長は主催者あいさつで「今回の衆議院議員選挙は『モリ（森友）・カケ（加計）疑惑隠蔽』と断言できる大義なしの解散劇だが、安倍自民党自らの失政を世論に問い、我が国の平和、立憲主義を今一度回復すべき総選挙と位置付けられ、政治の回復実現をめざすべき歴史の大きな岐路である。湯原俊二候補必勝、比例ブロック推薦候補かさ上げに向けて、経験則を踏まえた活動を実践していただくことを強く期待する。私たち退職者連合は、経験則豊かな活動家組織である。残された選挙日程の中で、一層選挙活動に参加し、安心社会の実現に

向けて邁進していただきたい」と訴えました。

その後、日本退職者連合の人見一夫会長、連合鳥取の本川博孝会長より「第48回衆議院議員選挙」にかかる熱い思いのこもったあいさつをいただきました。続いて、(一財)鳥取県労働者福祉協議会の安長章理事長、全労済鳥取推進本部の五十嵐美知義本部長、中国労働金庫鳥取営業本部の中島一彦担当部長より、退職者連合会員のみなさんへ日頃の活動協力に対するお礼と、それぞれの事業について紹介を兼ねたごあいさつをいただき、早速、議事に移りました。

..... <来賓のみなさま> .....

アベ政治に「ノー!!」を示すことが大切。退職者連合は連合と一緒に推薦候補者の当選をめざす。100万人組織、顔の見える退職者連合をめざしていく。



日本退職者連合  
人見一夫会長

この選挙でめざすのは“打倒 安倍政権!”。2区の湯原俊二候補は「希望の党」で出馬したが、政策は従来通り。ご理解いただき、お力添えいただきたい。



連合鳥取  
本川博孝会長



鳥取県労働者福祉協議会  
安長 章理事長



全労済鳥取推進本部  
五十嵐美知義本部長



中国労働金庫  
鳥取県営業本部  
中島一彦担当部長



日本退職者連合  
高柳京子部長

<議事>

2017年度活動・会計決算報告と、2018年度活動方針(案)・予算(案)について、山田敏明事務局長が、そして、会計監査報告を磯江悦志会計監査が一括提案し、それぞれ満場の拍手で承認されました。

続いて、総会スローガン(表面上)が満場一致で採択され、その後、事務局提案として、山田事務局長が、「湯原俊二選対より、みなさんに次の3点の活動をぜひお願いしたい」と連絡があった旨を伝え、

「湯原俊二さんは『希望の党』で出馬はしているが、政策や信念は何も変わっていません!!」

と強く訴えました。

—お願いしたい3点の活動—

- ①支持者の拡大 ⇒ 一人でも多くの人へ紹介を!
- ②投票率を上げる(期日前投票の働きかけ) ⇒ 期日前投票の活用の呼びかけを!
- ③湯原さんのフェイスブックにいいねを! ⇒ 応援を!



上/拍手で承認  
下/  
提案する  
山田敏明  
事務局長

乾杯!

<昼食懇親会> 定期総会終了後、同会場で行った昼食懇親会に多くのみなさんにご参加いただき、交流を深めました。

